

平成22年7月23日
佐賀国道事務所

記者発表資料

平成22年度 佐賀県内における橋梁保全講習会の開催について

◆講習会の趣旨

高度成長期に大量に建設された橋梁の高齢化が進む中で、適切な点検・管理・補修等が求められており、厳しい予算状況のもと、今後の安全・安心の確保のための適切な維持管理を行うことが重要となっています。

このため、国土交通省佐賀国道事務所は、今後、佐賀県内の自治体が行う橋梁管理の一助となるよう、国土交通省職員を派遣し、橋梁の維持管理に係る知識の習得や、維持管理体制の向上に資することを目的として、下記のとおり自治体職員を対象にした講習会を実施します。

◆開催日程及び場所

・平成22年7月30日（金） 9：30～16：00 ドウイング三日月 2階視聴覚室

◆主なプログラム

●講義（10:00～14:30）

- 橋梁保全に関する最近の動向
- 橋梁の日常管理について
- 橋梁損傷・診断・補修事例
- 佐賀国道事務所の橋梁管理・補修事例

●現地実習（15:00～16:00）

みかしま

・三ヶ島3号橋（小城市三日月町）

※講習会場及び現地実習場所の詳細については別紙をご確認下さい。

※現在、佐賀県内の19市町から約50名の参加申し込みがあります。（7月22日現在）

お問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所
技術副所長 原尻 克己
管理第二課長 前嶋 智博

佐賀市新中町5番10号 TEL:0952-32-1151(代表)

佐賀県内における橋梁保全講習会 講習会会場・現地実習の位置図

▼日時:平成22年7月30日(金)

講習会会場:ドゥイング三日月 2階視聴覚室

みかしま みかしま やまと

現地実習:三ヶ島3号橋 (三ヶ島大和線)



佐賀県橋梁保全講習会の開催について

◆佐賀県内の橋梁保全の現況

○現在、九州管内の橋長15m以上の道路橋は約21700橋あり、そのうち佐賀県内の道路橋は約2000橋である。(平成22年4月現在)

○平成21年3月時点で、佐賀県内の自治体が管理する橋梁において通行止めを行っている橋梁は無いが、重量制限等の通行規制を行っている橋梁が2橋ある。

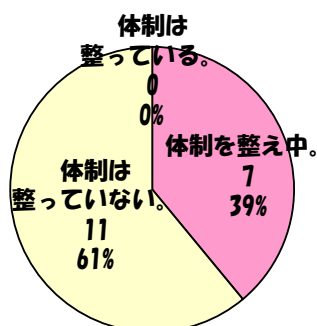
通行規制等を行っている道路橋数(橋長15m以上) 平成21年3月時点

		通行制限橋梁数		
		通行止め	通行規制	計
九州全体(直轄・自治体管理)		14橋	78橋	92橋
佐賀県内	直轄管理	0橋	0橋	0橋
	自治体管理	0橋	2橋	2橋
	計	0橋(0%)	2橋(3%)	2橋(2%)

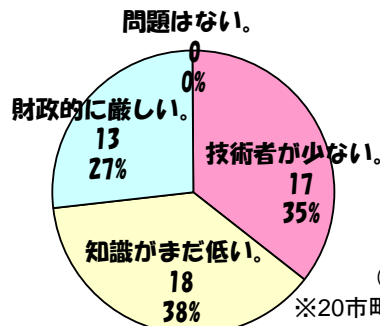
()内は九州全体に対する佐賀県内の発生割合

○佐賀県内の各市町に対して、橋梁保全に関する事前アンケートを実施した結果、
 ・約60%の市町が橋梁保全に対する体制が整っていない。
 ・体制を整えるにあたって、『技術者不足』、『知識不足』、『財政的困難』が問題。

橋梁保全に関する体制



体制を整えるにあたっての問題点



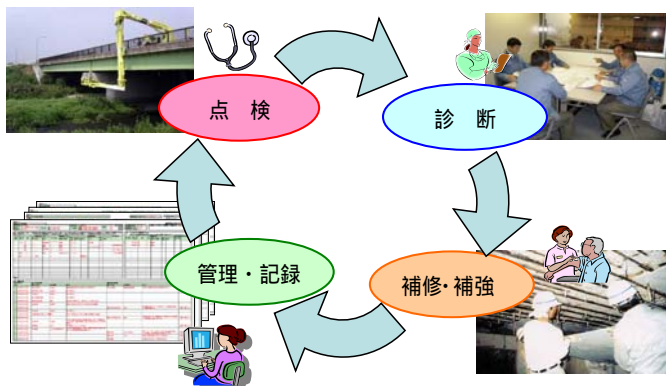
事前アンケート
(平成22年4月実施。)

※20市町のうち18市町から回答あり。

◆橋梁の維持管理

○橋梁の異常や損傷を早期に発見し、重大損傷になる前に適切な対策を講じることで橋梁の延命化が図られる。

橋梁保全の重要な第一歩は点検である。



上記の状況を踏まえ、佐賀県内の自治体が行う橋梁保全の一助となるよう『橋梁保全講習会』を開催することとしております。